

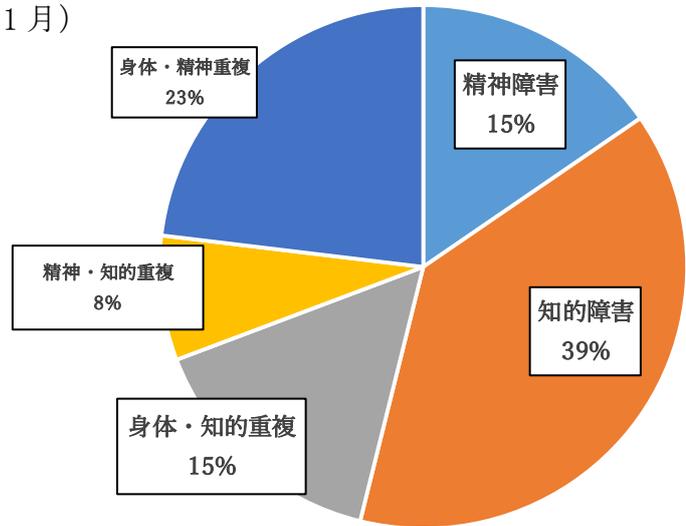
地域生活支援拠点システム運営状況報告 (令和6年11月末時点)

資料 3-1

1. 緊急受け入れ対応状況

■ 緊急対応件数 (R6.4月～R6.11月)

障害種別	対応件数
精神障害	2件
知的障害	5件
身体障害	0件
身体・知的重複	2件
精神・知的重複	1件
身体・精神重複	3件
三障害重複	0件
不明	0件
合計	13件

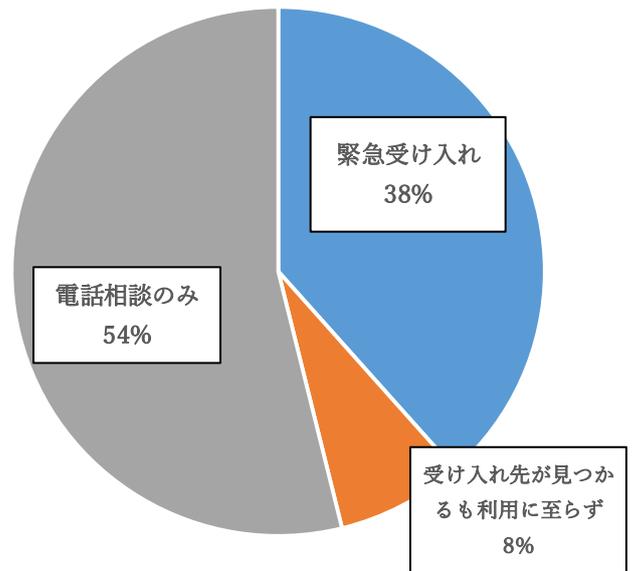


■ 備えた相談件数

R6.4～11月	43件
----------	-----

■ 対応方法内訳

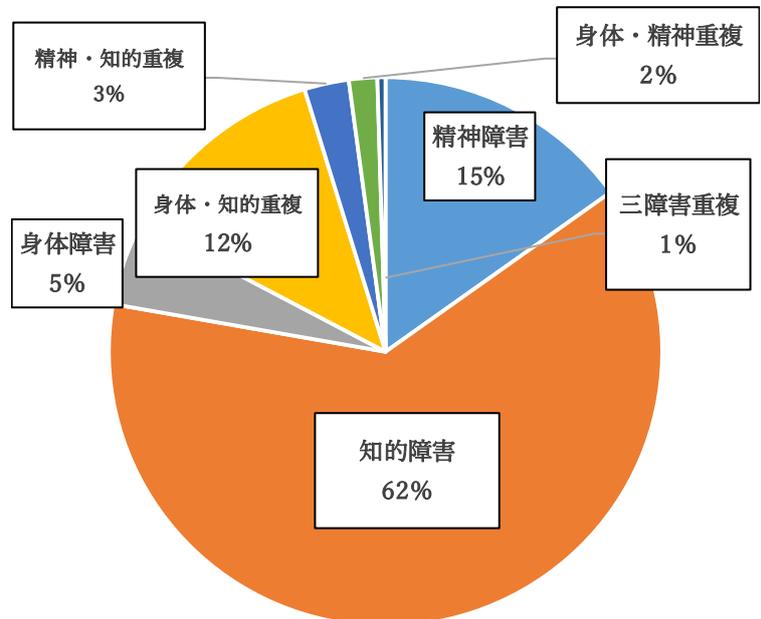
対応方法	対応件数
緊急受け入れ	5
受け入れ先が見つかるも利用に至らず	1
電話相談のみ	7
傾聴支援	0
合計	13



2. 事前登録状況 (累計)

■ 事前登録者数 (R1.9月～R6.11月)

障害種別	登録者数
精神障害	64人
知的障害	265人
身体障害	21人
身体・知的重複	53人
精神・知的重複	11人
身体・精神重複	7人
三障害重複	2人
合計	423人



地域生活支援拠点システム運営状況報告 (令和6年11月末時点)

3. グループホーム連絡協議会

■参加事業所数（R6.11月末時点）

- ・船橋市内67事業所中、65事業所

■活動内容

- ・船橋市グループホーム連絡協議会参加事業者には毎月空き情報等収集し、一覧表を船橋市障害福祉課、基幹相談支援センターに提供している。
- ・関係機関や利用希望者からの問い合わせに対し、特性や希望等を聞き取ったうえで、空き情報や問い合わせ先等の情報提供や利用支援を行う。
- ・グループホーム運営事業者からの問い合わせに対し、立ち上げ支援や運営支援等の相談に応じている。
- ・事務局担当職員やコーディネーター、相談員が訪問の了承を得られた事業者のホームに訪問し、情報収集や意見交換等を行っている。令和6年4月から令和6年11月末までの間に4事業所と面談し、意見交換を行っている。
- ・令和6年10月より船橋市グループホーム連絡協議会参加事業者向けに、任意のタイミングで受講可能な動画配信型のオンライン研修を導入している。

■事業所訪問での聞き取り内容（抜粋）

- ・ホーム数、定員、建物の形状、設備等基本情報。
- ・スタッフの勤務体制、夜間、休日の支援体制と研修体制。
- ・身体介助、服薬支援、通院支援、金銭管理、余暇支援等のサービス提供。
- ・ホームの特徴とセールスポイント等。
- ・現在入居中の利用者状況。
- ・あんしんねっと船橋からの緊急受け入れの打診に対応できるか。

■令和6年度グループホーム連絡協議会 開催状況

- ・第1回：令和6年6月12日（水）
参加事業所数21事業所 参加者28名
船橋市障害福祉課5名 基幹相談支援センターふらっと船橋1名
大久保学園4名
- ・開催内容
(1) 船橋市内のグループホーム状況について（事務局）
(2) 報酬改定について（船橋市役所障害福祉課計画係）
(3) 地域連携推進会議について（ウェルスター株式会社 笠村氏）

地域生活支援拠点システム運営状況報告 (令和6年11月末時点)

- ・第2回：令和6年9月24日（火）
参加事業所数22事業所 参加者31名
船橋市障害福祉課2名 基幹相談支援センターふらっと船橋1名
大久保学園4名
- ・開催内容
FAS-net 合同開催 意見交換会
(1) 意見交換会（グループワーク）
「相談支援とGHのより良い連携を目指して」

4. 地域生活支援拠点システム運営委員会開催状況

- 第1回 令和6年7月10日（水）
 - (1) 拠点事業実施報告
事前登録、相談、対応、GH連絡協議会等
 - (2) 拠点事業
運用解説の改定について
 - (3) 活動報告書について
 - (4) 今年度の検討議事について
 - (5) その他